

1-5 1994年北海道東方沖地震（M8.1）の余震活動

The Hokkaido-Toho-Oki Earthquake, 1994 (M 8.1)-Aftershock sequence -

札幌管区気象台

Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

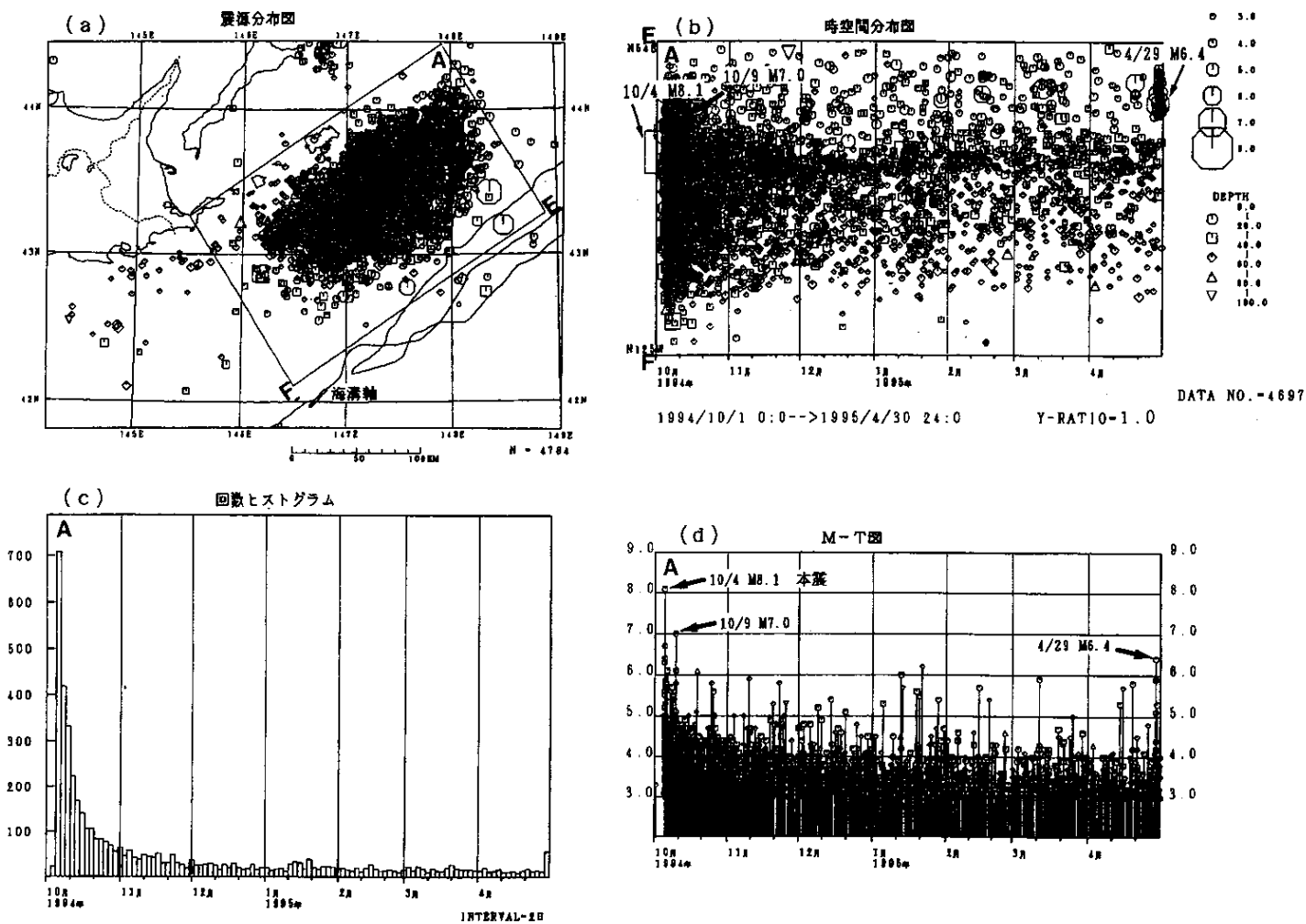
第1図に北海道東方沖地震¹⁾の1994年10月から1995年4月までのM3以上の余震活動の状況を示す。これによると本震直後から活発な余震活動が続いており、10月9日にはM7.0の最大余震（釧路で震度IV）が発生したのをはじめ、M6クラスが数回発生した。その後、余震の発生頻度はゆっくりと減少しているが、1月になってM6クラスの余震が2回発生した。また、4月29日にはM6.4の余震が余震域東端部に発生し釧路で震度IIIを観測した。この付近ではその後一時的に余震活動が活発化した。

参 考 文 献

- 1) 札幌管区気象台：平成6年（1994年）北海道東方沖地震（10月4日，M8.1），連絡会報，**53**（1995），51-56.

北海道東方沖地震の余震活動 (1994年10月~1995年4月 $h \leq 100\text{km}$ $M \geq 3.0$)

札幌管区気象台



第1図 北海道東方沖地震の余震活動 (1994年10月~1995年4月 $h \leq 100\text{km}$ $M \geq 3.0$):

(a) 震央分布 (b) 時空間分布 (c) 回数ヒストグラム (d) M-T図

Fig. 1 Activity of aftershocks of the Hokkaido-Toho-Oki Earthquake, 1994 (October, 1994-April, 1995 $h \leq 100\text{km}$ $M \geq 3.0$):

(a) epicentral distribution, (b) space-time distribution, (c) number of earthquakes per two days, (d) magnitude-time diagram.